

防人が歩いた黒川の丘

～大和朝廷の大道 古代東海道 7カ所の痕跡を追って～

黒川の歴史はとても面白い。大國魂神社の暗闇祭りで神前に供える汁物を調製した人々が奉斎した汁守神社があり、隣接する飯守・葉守？神社も、古代に始まる歴史のロマンに満ちています。さらに多摩市との境界の尾根を奈良時代には北九州や壱岐・対馬まで兵として赴任した防人(さきもり)たちが歩いた「古代東海道」が越えていた可能性も見え始めています。今回は大和朝廷が威信をかけて建造した大街道の痕跡を大磯高麗山まで追ってみた成果を中心にお話します。



黒川尾根へ続く古代東海道の跡
多摩市連光寺 打越山遺跡



黒川尾根の推定・古代東海道跡



黒川尾根「防人見返りの峠」の
防人の一行(歴史古街道団)

【講師】古街道研究家 宮田太郎氏

【プロフィール】 NHKテレビやラジオ番組で歴史解説

1959年(昭和34年)東京都多摩市生まれ

古街道研究家(歴史古道研究家)

歴史ルポライター

総務省地域力創造アドバイザー

歴史古道まちづくりプランナー

歴史講師(NHK学園、大手旅行社・カルチャーセンター)ほか

(株)歴史シアター・ジャパン 代表

歴史古街道団 代表

いざ！鎌倉古道の会 会長(旧鎌倉古道・歴史遺産の会)

日本フットパス協会・理事



【開催日時】令和8年(2026) 2月6日(金) 開演14時～16時頃
(開場13時30分)

【会場】川崎市麻生区役所 4階第1会議室 (川崎市麻生区万福寺1-5-1)

【申込】定員140名(申し込み 先着順) 【申込締切】1月30日(金)

【参加費】お一人さま¥500 (当日受付にて) (注)定員に達しましたら締め切らせて頂きます

【申込方法】【方法①】麻生観光協会のホームページ <https://asao-kankou.jp> から[麻生歴史観光ガイド]⇒[第3回古道ロマンよもやま話]の順にクリックして下さい。

【方法②】往復はがきでもお申込みできます。『第3回古道ロマンよもやま話』と題し、参加希望者全員(3名迄)の ①氏名 ②年齢 ③住所 ④電話番号 を書き、〒215-8570 川崎市麻生区万福寺1-5-1川崎市麻生区役所地域振興課宛にお申し込み下さい。



(注)参加申込時に記載頂いた個人情報、適切な管理のために必要な措置を講じています。また、当会の開催するイベント以外には使用いたしません。

【お問合せ】1.Net:麻生観光協会のホームページ内歴史観光ガイドのページの問合せ先
<https://asao-kankou.jp/r4/guidecontact>

2.電話:麻生区役所 地域振興課 ☎044-965-5113

【宮田太郎講師の活動実績】

南西諸島、九州・四国・本州・北海道、サハリン、中国、内モンゴル自治区、韓国、東南アジアなど、全国と近隣諸国の歴史ある古道・古街道と遺跡の深いつながりを40年にわたり研究し、これまでに歴史ウォークや講演、時代再現イベントなどを実施(累計約3,500回以上)で紹介。特に関東南部の「多摩丘陵や相模野」をホームグラウンドに、5つの研究会の代表を経て「道の考古学(道路遺構学)」の視点で探求を続けている。発見した道や遺跡の幾つかは都市設計やまちづくりに活かされた例がある(道ismプロジェクト)。「日本の歩きたい道」「新日本歩く道機構・歴史の道」に選ばれた「多摩こやまの道」の総合歴史監修。

現在では最新の科学技術を用いた地図解析で古道と遺跡の抽出も試みている。NHKテレビ番組「趣味どきっ！」古道を歩くシリーズ、BSテレビ番組「歴史科学捜査班」、民放テレビ「奈良時代一周の旅」などに出演。NHKラジオ深夜便「いにしへの道を訪ねて」では、生放送で5年間レギュラー解説を務め、全国の60箇所の古街道の歴史ロマンについて解説し、好評を得た。研究会論考多数。著書「新視点 日本の歴史・中世編(新人物往來社)」「街道から読み解く日本史(青春出版)」「鎌倉街道伝説(絶版)」「鎌倉古道を歩く(再販計画中)」